

シルクロードに魅せられて 入江一子 100歳記念展 一百彩自在— 企画書

■企画概要

上野の森美術館では、入江一子氏（いりえ・かずこ）が、100歳を迎えたことをお祝いして、回顧展を開催します。入江一子氏は、1916年山口県萩市出身、幼少期を韓国・大邱（テグ）で過ごされました。小学校6年生の時に描いた静物画が昭和の御大典で天皇に奉納、その後も作品がフランス総領事買い上げになる等、早くからその才能を発揮されました。1938年女子美術専門学校（現・女子美術大学）を卒業後、洋画家・林武と出会い、生涯師事されました。1947年に女流画家協会に創立会員として参加、1957年には独立美術教会会員に推挙され、以後現在まで、両団体で、一度も休むことなく出品し続けていらっしゃいます。

「私の絵の原点は、若い頃に見た、中国・嫩江（のんこう）の川面が夕日で真っ赤に染まった風景との出会い」と入江氏は語られています。画家のシルクロードの旅は、ここから始まり、またこの「嫩江の赤い夕日」を求め続けられたのだと思います。1969年、53歳の頃からシルクロードの旅が始まり、各地の鮮やかな色彩や風景、その土地で暮らす人々の姿、文化に魅せられ、以来30ヶ所に及ぶ国を訪れ、その姿をライフワークとして描き続けてこられました。100歳を迎えてなお、その創作意欲は尽きることなく、制作を続ける毎日です。

本展では、初期の貴重な学生時代の作品から、シルクロード取材でのスケッチや、それらを仕上げた、100～200号におよぶ油彩による大作を中心に、約100点を一堂に展示します。現在は戦禍にまみれ近づくことさえできない国々で描かれた世界遺産のスケッチの数々も貴重な文化資料といえます。制作の背景ともなったシルクロードの民俗資料（人形・工芸品・楽器・絨毯等）も併せて展示します。入江一子の世界観をどうぞお楽しみください。

■開催概要

【会期】	2017年1月27日(金)～2月4日(土)	*会期中無休
【会場】	上野の森美術館	〒110-0007 台東区上野公園1-2 電話 03-3833-4191
【開催時間】	午前10時～午後5時（初日は午後1時から、最終日は午後3時まで）	
	*入館は閉館の30分前まで	
【観覧料】	〈一般〉 600円 〈大学生〉 400円 〈高校生以下〉 無料	
	*障害者手帳をお持ちの方、その介助者は無料	
▷主 催	上野の森美術館、入江一子シルクロード記念館	
▷後 援	蘿崎大村美術館、学校法人 女子美術大学、山口放送、女流画家協会、フジサンケイグループ、	
▷特別協力	生活の友社	
▷ホームページ	入江一子シルクロード記念館	http://iriekazuko.com/

■ギャラリートーク 1月28日、午後2時より

美術評論家・本江邦夫氏が、入江一子と共にギャラリートークを行います。

■会場での演奏 *参加費は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

- ◎1/27（金）「大地の音」（仮題）……………〈パーカッション〉熊本比呂志（山下洋輔トリオメンバー） <http://www.pi-net.org>
- ◎1/29（日）「風の音」（仮題）……………〈オカリナ〉柿内美緒（東京オカリナカルテットメンバー）

<http://www.studiofiato.com/profile.html>

■入江一子プロフィール

- 1916年 山口県出身。多感な少女時代を韓国・大邱で過ごす
1928年 小学6年生のときに描いた静物画が昭和の御大典で天皇に奉納されるなど早くから才覚を顕す
1933年 女学校4年のとき朝鮮美術展の入選作「裏通り」がフランス総領事ドペールに買い上げられる
1938年 女子美術専門学校師範学科西洋画部（現・女子美術大学）卒業。第8回独立美術協会展入選（「沼地風景」）。洋画家・林武画伯に師事
1947年 女流画家協会創立会員
1953年 女流画家協会賞。第21回独立美術協会展独立賞
1956年 女流画家協会賞
1957年 独立美術協会会員（第25回独立美術協会展）
1958年 個展（以後毎年、大阪・名古屋・山口・下関・広島・東京・神奈川ほか）
1960年 日米女流美術交換展（リバーサイド美術館／ニューヨーク）出品
1963年 安井賞候補展出品（～1966年）
1964年 国際女流美術家クラブ展（パリ近代美術館）出品
1969年 東南アジア・ヨーロッパ・シルクロード写生旅行（以来30数カ国を訪問）
1974年 日米女流画家合同展（パシフィックアジア美術館／カリフォルニア州パサディナ）出品
1980年 現代女流美術展（上野の森美術館）、現代女流画家展（高島屋）出品（～1999年）
1981年 作品集「シルクロードと花」出版記念展（銀座・東京セントラル絵画館）
1985年 作品集「シルクロードと花」出版記念展（銀座・東京セントラル絵画館）
1990年 作品集「シルクロードと花」出版記念展（銀座・東京セントラルアネックス）
1996年 『色彩自在／シルクロードを描きつづけて』出版記念展（渋谷・東急本店）
2000年 入江一子シルクロード記念館（東京・杉並区阿佐谷）オープン
2006年 日本の女流画家展（セーラムギャラリー／ニューヨーク）出品
2008年 日本の女流画家展（日本ギャラリー／ニューヨーク）出品
2009年 入江一子個展「シルクロード色彩自在」（日本ギャラリー／ニューヨーク）開催
2012年 ニューヨーク個展凱旋記念 入江一子展「シルクロード色彩自在」（1月 日本橋三越本店、2月 名古屋栄三越巡回）
2013年 女子美術大学「女子美栄賞」第1回受賞（平成25年度「100周年記念大村文子基金」）
2015年 神奈川県立近代美術館 葉山「日韓展」大邱時代の作品展示（全国巡回6美術館）。特別展「入江一子展 / シルクロード色彩自在」（浜松市秋野不矩美術館）
2016年 入江一子展（女子美ガレリアニケ）。百寿記念 入江一子自選展（日本橋三越本店／名古屋栄三越）

【現在】 独立美術協会会員／女流画家協会委員

【著書】 『色彩自在／シルクロードを描きつづけて』（1996年／三五館刊）

【所蔵】 山口県立美術館／山口県庁／山口放送／青梅市立美術館／女子美術大学／日本航空／垂崎大村美術館／桐生自動車博物館／立川中央病院

【出演】 フジテレビ「テレビ美術館」（1979年）／NHK「日曜美術館」（1980年）／テレビ東京「私の美術館」（山形由美／鎌倉アトリエ訪問／1988年）／山口放送「入江一子個展」（1990年）／日本テレビ「美の世界」（井田由美／鎌倉アトリエ訪問／1996年）／NHK首都圏ネットワーク「アフガニスタンに平和を求めて」（2001年）／ケーブルTV出演、区政施行70周年記念「杉並区ゆかりの文化人」ほか（2001～2011年）／テレビ朝日「若大将のゆうゆう散歩」（2014年）／「モーニングバード！」G ウーマン（2014年）／朝日新聞「天声人語」（2014年）／ブラジルTV局取材（全土放映）（2014年）／日本テレビ「1億人の大質問！？笑ってコラえて！？名前の旅」（2015年）／テレビ東京「L4YOU! プラス／街のすごい人」（2015年）／東京MX「5時に夢中！？100歳まで生きるコツ」（2015年）

【問い合わせ先】

上野の森美術館 〒110-0007 台東区上野公園1-2 電話03-3833-4191

入江一子展広報事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-12 銀友ビル4階 生活の友社内

〈担当〉小森佳代子・長嶋さやか

〈電話〉03-3564-6900 〈FAX〉03-3564-6901 〈E-mail〉mado@tomosha.co.jp